



新小だより 6月②号
ぶうくん



子供たちは、新しい生活様式にも慣れ、明るく元気に頑張っています

校長 紫竹理枝子

6月のリハビリテーション期間スタートの1週間、分散時差登校、手洗い、人と人の間隔をあける、フェイスシールドを使った話し合いなど上手に行っています。時差登校や体温測定などご協力ありがとうございます。子供たちの「おはようございます」の挨拶も新狭山小らしい明るい声が戻ってきました。いよいよ今日から全員登校、給食もスタートです。感染予防、熱中症対策をしっかり行い子供たちが新しい生活様式に慣れるよう引き続き努力していきます。まだまだ、不安な毎日が続きます。しかし、こういう時こそ、お互いを思いやって感謝の気持ちを持ちながら、笑顔で生活することが大切です。15日(月)から希望者の個人面談も始まります。短い時間ではありますが、心配なことなど些細なことでも構いませんのでお話しいただき少しでもお力になればと思います。



少しずつ行動規制が緩やかになってきていますが、朝夕の子供たちの健康観察はぜひ行っていただき、少しでも体調に変化があった場合はご家庭で様子をご覧ください。「コロナに感染しない・感染させない」が大切です。子供たちの安心安全な生活が続けていけますようによろしくお願いいたします。

★給食について・・・社会状況によって改良していきます

- ①机は前向きのまま個人で食べます。給食は順番に間隔をあけ、本人が取りに行きます。
- ②手洗いをこまめにしっかりさせます。水道の開け閉めは子供にはさせません。
- ③給食当番は、手洗いをしっかりしビニール手袋、フェイスシールド、給食着を着用します(各自エプロンなどを持参することも可能です)。給食当番は食事をする前にまた手洗いを実施します。
- ④給食の時は会話はしません。机上の飛沫防止のパーテーションの使用も考えましたが、パーテーションを触った手で食べてしまうことの方が危険であると考え、手洗いをしっかりさせ、会話をしないことを徹底していきます。ご承知おきください。
- ⑤窓は常に開け、気候によっては冷暖房を使用し、換気を徹底します。
学校の空調設備は、窓をしめていても外の空気を取り入れ室内の空気を排出する機能があると調査結果がきましたので、梅雨時などは空調を入れて窓を閉める場合もあります。

連絡

- ・入間地区児童生徒発明創意くふう展、科学振興展覧会は、新型コロナウイルスの感染症の拡大防止を踏まえ中止となりましたので、夏季休業中(8/8~17)の課題に変更があります。(予定)
- ・狭山市社会福祉協議会市民ボランティア様、わくわく支援員の中森先生より手作り子供用布マスク、介助員の高橋先生より手作リスポンジをいただきました。各学級に予備マスクとして置かせていただきます。ありがとうございました。

除菌について

様々な報道がなされていますが、学校薬剤師の山下先生より、除菌水による手指の除菌をしてもよいが、最終的には石鹸を使用した手洗いを徹底することが最も効果的であると話を伺いました。希望者が使用できるように昇降口に除菌水を設置してあります。石鹸で手洗いをさせることを徹底していきます。